

ラボの課題

浅口市が直面する「人口減少」および「産業の停滞」に対し、天文・海・山・食・伝統産業といった地域資源を活かしながら、交流人口・関係人口の拡大につながる新たな観光・体験価値を創出すること。

連携先

浅口市役所（産業振興課、秘書政策課）、浅口商工会、観光協会、漁業協同組合、農業協同組合、市内事業者（酒蔵・手延べ麺等）、国立天文台、岡山天文博物館、ファジアーノ岡山 他

春学期の活動報告

■ 浅口市について知る

観光パンフレットやインターネットなどを活用したデスクリサーチを通して、浅口市の現状や地域資源を整理した。また、フィールドワークを実施し、自分たちの目で見て肌で感じることで、資料だけでは分からなかった浅口市の魅力や課題を理解することができた。



■ 企画の立案

デスクリサーチやフィールドワークを通して得られた地域資源や課題を基に、地域活性化に向けた課題を立案した。

■ 浅口市長・浅口市教育長との意見交換

栗山康彦浅口市長、文谷元信浅口市教育長との意見交換を通して、浅口市の魅力や地域課題について理解を深めた。また、自ら立案した企画について助言をいただき、行政ならではの視点や考え方を学ぶことで、より実現可能性の高い企画へとブラッシュアップする貴重な機会となった。



今後の活動・目標

企画をブラッシュアップし、地域や行政と連携しながら、地域に貢献できる企画の実現を目指す。